



# 校旗のもとに

学校教育目標  
仲よく  
本気で  
最後までがんばる子

勝瀬小学校 三つの心「チャレンジする心 がまんする心 豊かな心」

## 「ありがとう」で終わる一年に…

校長 藤井文則

12月の生活目標は「学校をきれいにしよう」でした。勝瀬小は、年間を通してもくもく清掃に取り組んでいます。子供たちは、清掃が終わると毎回「三つの心」について振り返りをしています。もくもく清掃を通して、自分から何かできることはないかを考える「チャレンジする心」、忍耐強く作業に取り組む「がまんする心」、そして、困っている仲間、掃除の終わらない仲間はいないか、相手を思いやる「豊かな心」を育てているのです。12月は1年の締めくくりとして、もう一つ「豊かな心」をプラスしてほしい…と、お話朝会でこんな話をしました。

今月の生活目標は、学校をきれいにしようです。みなさんは、毎日のもくもく清掃の中でも、三つの心についても振り返りをしっかりしてくれています。改めて考えてくださいね。もくもく清掃で、育つ「豊かな心」とはどんな心ですか？もくもく清掃に協力して取り組む事で、仲間のことを思いやる気持ちを育てることが大切なんです。これからも毎日の清掃の終わりにそれができたかどうか、しっかりと振り返ってくださいね。今日は、仲間を思いやる気持ちともう一つ、もくもく清掃で育ててほしいなと思う、豊かな心について話しますね。それは、「ありがとう」という感謝の気持ちです。教室や廊下、自分が掃除する場所に「ありがとう」と言ってみてください。皆さんが毎日、様々な活動をするためには、教室や特別教室など学校が無ければできませんね。だからこそ、自分が使っている場所を掃除するときに「ありがとう」と言ってあげてくださいね。教室だけではなく、皆さんが普段から使っているもの、例えばえんぴつ、消しゴム、教科書など、当たり前と思わずに「ありがとう」と言ってみてください。そうすれば、いろいろなものを大切に使うと、豊かな心がさらに成長します。12月は、普段お世話になっている友達や先生、家族、そして教室や廊下、普段皆さんが使っている身の回りの物すべてにありがとうの気持ちで接してみてください。一人一人が、ありがとうの心を持つとクラス全体が、学年全体が、学校全体が、とても温かくほかほかになります。今までの話から、2年生以上は去年取り組んだあることを思い出してくれた人もいられるかもしれませんね。そうです、勝瀬っ子ありがとうチャレンジです。去年は120人もの方が達成しました。今日の、20分休みに校長室の前にプリントを置いておきますので、やってみようと思う人は自分でプリントを持って行ってチャレンジしてみてくださいね。毎年、とにかくプリントを早く書くことが目標になってしまっている人がいるので、ゆっくりでもいいので、しっかりと「ありがとう」と言えた人や物、場所について書いてくださいね。達成した人は、ぜひ校長先生の所に持ってきてください。待っていますよ。最期に、今年は1年を通して人権についても皆さんに話をしてきました。人権とは、まず自分とまわりの人を大切に思うこと大切でした。自分や周りの人を大切にすることは、「ありがとう」と思う心から始まると校長先生は思っています。ぜひ、ありがとうチャレンジに取り組んで、豊かな心を育ててください。

このありがとうチャレンジは、全員がやらなければいけないことではなく、自分が感謝する人や物を改めて見つめなおそうという任意のチャレンジです。校長室前に置いておいた、200枚のプリントがほとんどなくなっています。3人に1人は「ありがとう」を見つけている人がいるということです。その気持ちや行動は、学校全体に見えない力として伝わっていくのでしょうか。



11月の個人面談に引き続き、お忙しい中、授業参観・懇談会へのご協力、ありがとうございました。また、「教育活動についての保護者アンケート」にも、多くの方にご協力いただきました。保護者との対話を大切に、よりよい勝瀬小学校になるよう教職員の力を合わせ、3学期も子供たちの成長を第一に教育活動を行っていきたいと思います。

**懇談会校長あいさつ要旨** 11月に行われた県の教育長会議で、県内の児童について憂慮されていることがいくつか情報提供があり、市の校長会でも教育長から話がありました。ここでは、その中の二つについてお話させていただきます。

一つ目は交通事故です。県内で小学生や高校生の重大事故が重なって起きているということです。私がぜひ、職員、保護者の皆様、そして地域全体で考えていきたいのがヘルメットの着用です。道路交通法の改正で、努力義務となりましたが、特に子供にとってヘルメットをしているかしていないかは命を守ることに繋がります。ぜひ、保護者の皆様も、私たち教職員も、子供の手本となって交通ルールをしっかり守りたいですね。

二つ目は、子供の自殺についてです。特に SNS でのトラブルが自殺につながっている事例が問題になっています。オーストラリアでは国を挙げて 16 歳未満の使用に制限がされました。また、日本でも池袋の高齢者による車の暴走死亡事故の被害者に脅迫文を送った中学生が刑事告訴されたことも話題になりました。ぜひ、ご家庭内での約束事をしっかり決めていただき、子供たちが SNS 上でしているやり取りについて、確認したり、アドバイスをしてあげたりしてください。

冬休みは、普段よりも、お金に接する機会が多くなります。ぜひ、この機会にお金の大切さ、正しい価値観を家族で話し合ってください、俗に言われる闇バイトに加担することのない倫理観を育てていただくよう、お願いいたします。2 学期も、PTA、助っ人団をはじめとする多くの保護者の方のご協力に感謝を申し上げて、あいさつとさせていただきます。



冬休みは、短い期間ですが、子供が社会の中で成長する、様々なチャンスがたくさんあります。ご家族とのふれあいの中でしか育たない「ありがとう」の気持ちを大切にしてくださいようお願い申し上げます。